

東京都地方独立行政法人評価委員会 平成18年度第5回試験研究分科会  
議事概要

1. 日時：平成19年3月23日（金）10時30分から12時15分まで
2. 場所：東京都庁第一本庁舎 42階北側 特別会議室C
3. 出席者：板生委員、井上委員、泉澤委員、鞠谷委員、松本委員
4. 議題：
  - 1 審議事項 産業技術研究センターの各事業年度に係る業務実績評価（年度評価）の考え方について
  - 2 報告事項 産業技術研究センター平成18年度事業経過報告及び平成19年度年度計画について
  - 3 その他

5. 議事概要：

- (1) 産業技術研究センターの各事業年度に係る業務実績評価（年度評価）について  
事務局より産業技術研究センターの各事業年度に係る業務実績評価（年度評価）の考え方について説明。

【委員意見】 太字ゴシックが委員意見

- ・ 自己評価のS、A、B、Cと項目別評価の1、2、3、4といった評定について、ニュアンスがずれている場合が考えられる。自己評価を行う法人と、評価委員会の間で、これらの評定について、それぞれ達成度の何%程度などの目安により、意識合わせをしておく必要がある。
- ・ 評価の仕方については、減点方式よりは、加点方式的に良いものを伸ばしていくスタンスで行うのが望ましいのではないかと考えられる。単なる効率化だけでなく、より取り組むべき事業については積極的に推進していく方向で法人運営を進めてほしい。

事務局よりアウトカムを視点入れた評価の検討について説明。

- ・ アウトカムの検討は画期的なことであり、職員の意識改革にも役立つと考えられる。ただし、産技研は技術支援だけでなく研究を行っている機関であり、アウトカムの結果だけで事業を推進するのではなく、公共的な見地からの判断も必要である。

・アウトカムの導入については、現場の実態等を考慮しながら、検討していくことが望ましい。

(2) 産業技術研究センター平成18年度事業経過報告及び平成19年度年度計画について  
産業技術研究センターより平成18年度事業の経過報告及び平成19年度年度計画について説明。

【質疑応答・委員意見】 太字ゴシックが委員意見

・アウトカムの検討に関しては、どのような方式で最終的に成果を測定するかというあたりをよく検討するべきである。

・クレーム情報はどのような取り方をしているのか、そういうことも織り込んだ上で中小企業のニーズを捉えてほしい。

クレーム情報の把握については、産業技術研究センターに設置しているご意見箱や、アンケート、ホームページなどで行っている。クレーム事例を集めて、それを事業に反映させることに今取り組み始めているところである。

以上